

日誌

日誌 07月07日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	面談
		プラミペキソール
	10:00	プラミペキソール
		プラミペキソール
	11:00	プラミペキソール
		プラミペキソール
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	服薬指導
		薬歴
	14:00	プラミペキソール
		調剤
	15:00	受付
		服薬指導
	16:00	薬歴
		服薬指導
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

日誌

日誌 07月07日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

プラミペキソールの効果指標と副作用指標について考察を行った。インタビューフォームを確認したところ、プラミペキソールの効果指標には、IRLSスコアが用いていた。IRLSスコアは、レストレスレッグス症候群(RLS)の重症度を評価するための国際的な指標で、実際に項目を確認すると10問程度の質問に回答する形式であり、患者さんにとってはやや負担となる可能性があると感じた。そのため、より簡易に評価できる方法として、NRSのような数値評価スケールに置き換えて患者さんに確認することも一案であると教えていただいた。

副作用については、添付文書を参考にしながら確認を行った。主な副作用としては、吐き気、眠気、頭痛、嘔吐、めまい、便秘、ジスキネジアなどが挙げられる。プラミペキソールはドパミンD2受容体刺激薬であるため、ドパミンD2受容体の作用踏まえた広い視点で副作用を把握することが大切であると学んだ。また、添付文書の警告の欄には、突発的睡眠に関する記載があり、慎重な観察が必要であると感じた。これらの事項を確認するために、患者さんに電話で伺う際の日程調整を行うことになり、そのための電話の原稿を作成した。さらに、ジスキネジアなどの重篤な副作用への対応として重篤副作用疾患別対応マニュアルという資料があることを教えていただいた。

糖尿病の患者さんの服薬指導を担当した。コンプライアンスが低下しているの患者さんであり、現在も服薬は不十分な状況でした。

口内炎の患者さんの服薬指導を担当した。内服薬、塗布薬、うがい薬の3種類が処方されており、うがい薬は初めて使用するとのことで、使い方を説明した。薬剤師の方からは内服薬→うがい薬→塗り薬の順に使用するよう指導があった。

これまで何度か担当してきた患者さんの服薬指導を実施した。今回も30日分の処方で、次回来局時には私の実習が終了しているため、終了時間間近だったが実施した。血圧の薬を約3週間ほど飲んでいないと薬歴から読み取れたため確認したところ、当初は「飲んでたよ」との回答でしたが、データからだ飲んでいないことを説明した結果、「寝込んでいた3週間で飲んでいないかもしれない」と言ってくれた。服薬状況を確認することができた。

日誌

日誌 07月07日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	実務実習記録による評価項目	No	項目
チーム医療への参画			
1		【②地域におけるチーム医療】	
地域の保健・医療・福祉への参画			
2		【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
3		【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
4		【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5		【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月07日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>糖尿病の患者さんの服薬指導を担当したが、コンプライアンスの低下が見られる方でありながら、もう1歩踏み込んだ質問をすることができなかった。この反省を活かし、これまで何度か担当してきた患者さんに対してはもう1歩踏み込んだ質問をすることができた。患者さんは丁寧に教えてくださるので、聞く勇気が出た。</p> <p>クロピドグレル、ミカトリオ配合錠、ロソーゼット配合錠、ビフロキシシン配合錠、デキサメタゾン口腔用軟膏0.1%、アズノールうがい液4%について、添付文書や患者向け医薬品ガイド(該当があれば)、今日の治療薬より、適応、用法用量、副作用、使用上の注意、作用機序などについて確認する。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>この日はコンプライアンスに関わる話がいくつかあったようですね。コンプライアンスと言う情報を集めること自体が目的になってはいけませんよね。ただ最後の患者さんとの話の中であったようなコンプライアンスを自覚してもらうこと自体にはすごく意味があるのかもしれないですね。</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月08日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 37.0 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	健康セミナー準備
		健康セミナー準備
	10:00	健康セミナー準備
		健康セミナー準備
	11:00	調剤
		健康セミナー
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	健康セミナー
		服薬指導
	14:00	薬歴
		爪白癬
	15:00	OTC対応
		健康セミナー準備
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月08日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

健康セミナーに向けたスライド資料の作成を行った。参加者は高齢者の方が中心であるため、文字の大きさやレイアウトなど、見やすさを意識して作成した。

ピッキングを行った際に、リセドロン酸が処方されている処方箋を扱った。その際、指導薬剤師の方から「リセドロン酸が他のビスホスホネート製剤と比べて弱点なところは何か」と質問を受けた。添付文書を確認したところ、リセドロン酸では高度な腎機能障害のある患者は禁忌と明記されていたが、同じビスホスホネート製剤であるアレンドロン酸の添付文書には、そのような記載はなかった。この違いを学び、同じ薬効分類の薬であっても作用や禁忌の範囲に差があることを理解し、この内容がドラッグエフェクトであると実感した。

高血圧の患者さんの服薬指導を担当した。患者さんとの会話では、緊張しないようにと考え、水分摂取の有無や食事内容など、話しやすい質問をした。しかし、患者さんから「マニュアルなの？」と尋ねられた。後から、この患者さんは少し早く帰りたいと思っているかもしれないと教えていただいた。患者さんの状況や気持ちを察しながら、対応する重要性を実感した。また、この患者さんにはニフェジピンCR錠が処方されており、トーワとNPのジェネリック医薬品を並べて比較したところ、錠剤の大きさに違いがあることを理解した。NPの方が、錠剤の大きさが小さかった。同じ薬でも、製薬会社によって違いがあることを学んだ。

爪白癬の治療薬であるクレナフィン爪外用液10%の使用説明書をいただいた。使用説明書には「使用・保存の際には火気を避けてください」と記載されていた。添付文書を確認したところ、添加剤としてエタノールが含まれおり、火気厳禁の理由が明確になった。

鎮痛薬を探している患者さんのOTC対応を行った。10代くらいの若い患者さんで、他に飲んでる薬はないか、自分が使うのか、確認した。

日誌

日誌 07月08日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月08日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	OTC対応では、10代くらいの若い患者さんを担当したが、話しかけづらい雰囲気を感じ、うまく声をかけることができなかった。患者さんはイヤホンをつけており、正直、話しかけるのが怖かった。私自身も普段、何かを選びに行く際は、あまり声をかけられたくないタイプであり、どのような薬を探しているのかや、商品棚の案内は必要だと思うが、相手から選んでる際に質問をされるのは抵抗がある。そのため、相手も同じように感じているのではないかと思い、声をかけることができなかった。購入時にいくつかの確認事項を質問するのは大切である。それでもやはり聞きにいくべきなのでしょうか。
添付資料	
薬剤師のコメント	OTCの件すごく大事ですね。ちょっと視点を変えてみんなでディスカッションして見たいですね。 その前に1点伝えておきたいこととしては、販売するものによってアナウンスすべきものも違いますよね。OTCにおけるコミュニケーションの難しさと大切さを一緒に考えてみましょう。 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月09日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 37.0 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	健康セミナー準備
		健康セミナー準備
	10:00	電話
		健康セミナー準備
	11:00	在宅
		調剤
	12:00	休憩
		フィードバック
	13:00	調剤
		勉強会
	14:00	休憩
		休憩
	15:00	訪問
		報告書
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月09日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

健康セミナーに向けた発表の練習を行った。熱中症になった際に現れる症状や、熱中症が疑われるとき取るべき対処法についてなど、話す内容についてアドバイスをいただいた。また、問いかけるような話し方についても教えていただいた。自分自身、それらのアドバイスに大きく納得できたため、引き続きスライド資料の作成を進めていく予定である。

7/2に服薬指導を実施した患者さんに対して、追加されたプラミペキソール効果とおよび副作用の確認を行うため、電話で連絡を取った。患者の家族からは「数日前に手の腫れを感じたため服用を中心した」との報告を受けた。そのため、実際にお患者さん宅を訪問し、直接確認を行った。具体的には、手の腫れの程度や服用中心後の症状の変化、薬の効果の有無について聞き取りを行った。これらの内容については、情報報告書としてまとめる予定である。

悪性リンパ腫の患者さんの在宅訪問を行った。訪問時には、体調や食事摂取状況の確認を行い、現在の体調変化について伺った。また、ホスピスへの入所に関する手続きがどの程度進んでいるのかについても確認した。

7/7に服薬指導を実施した口内炎の患者さんの薬歴について、フィードバックを受けた。口内炎は発症部位が情報となるため、薬歴には具体的な発症場所を記載することで、再発時に同じ部位かどうかを確認でき、より適切な服薬指導が可能になることを学んだ。

ラゲブリオに関する勉強会に参加した。高齢者では、息苦しさや38度以上の発熱、食事摂取量の低下、倦怠感などが重症化のリスクとなることを学んだ。しかし、これらの症状は若年者よりも高齢者で出現しにくいことから、注意深い観察が必要であることを実感した。

日誌

日誌 07月09日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月09日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	これまで、何かを発表する際には、自分が作成した資料を一方向的に読み上げるだけで終わってしまうことが多かった。本日の発表練習でも、話す内容を確認することに意識が向いてしまい、聞き手の反応を意識しなかった。聞き手に問いかけながら進めることで、より理解を深めてもらえるため、伝わる発表ができるように練習して行く。
添付資料	
薬剤師のコメント	とても良いことに気づきましたね。健康セミナーの発表においては、双方向性がとても大事になってくると思ってみてください。あくまでも何を伝えたかではなく、何を学んでもらえたかが大事になります。実習と同じですね。 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月10日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	情報提供書
		情報提供書
	10:00	情報提供書
		服薬指導
	11:00	薬歴
		フィードバック
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	情報提供書
		情報提供書
	14:00	情報提供書
		服薬指導
	15:00	薬歴
		情報提供書
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(1)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月10日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

レストレスレッグス症候群の患者に関する情報提供書を作成した。患者家族からの情報という項目の作成に取り組んだ。まず、患者さんおよびその家族から得たプラミペキソールの効果と副作用に関する情報を、時系列がわかるように記載した。しかし、プラミペキソールの効果や副作用を評価するに至った経緯や背景が、文章だけでは十分に伝わらないことを指摘され、背景を書くようにアドバイスをいただいた。その後、背景に関する内容を追記したが、文章のつながりが不自然になってしまったため、文章の構成について具体的な指示を受けた。また、最初は「効果」や「症状」といった簡潔な表現で記載していたが、それでは伝わりにくいため、具体的にどのような効果や症状であったのかを詳しく記載するようアドバイスをいただいた。さらに、薬剤に関する提案という項目では、根拠を示した提案をしたかったが、その根拠となる計算方法が不明であり、指導薬剤師の方と共に計算を行った。明日は、その計算結果をもとに文章をまとめる予定である。文章構成の難しさと、根拠を明確に示すことの重要性を実感した。

膀胱炎の患者さんの服薬指導を担当した。患者さんが自身の処方されている薬をなぜ飲んでいるのか、しっかり理解していた。また、薬局に掲示してある熱中症に関するポスターを読んでおり、自身の症状と照らし合わせて熱中症の疑いを自ら考えていた。指導薬剤師の方から、この行動から理解力の高さが推測できると教えていただいた。

小児の喘息の患者さんの服薬指導を担当した。患者さんはサッカー部に所属しているため、サッカーの調子について質問を行ったところ、自然な流れで薬の効果を確認することができた。間接的な質問を通じて、得たい情報を引き出した良い経験となった。

日誌

日誌 07月10日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月10日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	薬物動態の計算方法が分からず苦戦した。指導薬剤師の方と一緒に計算を進める中で、頭の中が混乱してしまった。大まかにどのような内容の計算をし、何を求めているのかは理解できたので、明日、再度自分の力で計算を実施する。 服薬指導においては、薬歴に記載する際、患者さんとの会話内容がいくつか抜け落ちてしまっている部分があったので、記憶に残せるように意識して取り組む。
添付資料	
薬剤師のコメント	> 膀胱炎の患者さん ではなく、膀胱炎の再発を気にしている患者さんだと言うことが意外と大事かもしれない。 相手の理解力に合わせて展開できるアドバイスの例も必然的に変わって来ると感じられると嬉しいです 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月11日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	健康セミナー準備
		健康セミナー準備
	10:00	健康セミナー準備
		調剤
	11:00	健康セミナー準備
		健康セミナー準備
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	健康セミナー準備
		健康セミナー準備
	14:00	情報提供書作成
		情報提供書作成
	15:00	情報提供書作成
		情報提供書作成
	16:00	受付
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月11日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

健康セミナーに向けて、前回の発表練習でいただいたアドバイスをもとに、スライドの追加作成を行った。参加者が高齢者であることを意識し、文字の大きさに配慮しながら作成を進めた。

一次予防・二次予防・三次予防について整理した。一次予防は、病気の発生そのものを未然に防ぐことを目的とし、二次予防は、症状が現れる前の早い段階で病気を発見・治療し、重症化を防ぐことを指す。三次予防は、すでに発症している慢性疾患を管理することで、合併症やさらなる悪化を防ぐものである。

アピキサバンは1日2回、リバーロキサバンは1日1回服用であることを確認し、用法の違いを理解した。

昨日に引き続き、レストレスレッグス症候群の患者さんに関する情報提供書の作成を行った。まず、前日に指摘された文章の構成を修正した。プラミペキソールの添付文書を確認したところ、単回投与時の投与量とCmaxに比例関係が認められることから、投与量とCmaxが比例すると仮定し、定常状態の最高血中濃度を計算した。その結果、現在の投与量では、0.695ngと予測され、これにより手の腫れが発現した可能性があると仮定した。服用を中止した翌日以降は症状が改善したため、半減期から血中濃度を推定し、評価可能な日程の範囲内での有効血中濃度は0.1737?0.3475ngであると予想した。この結果を踏まえ、現在の1回1錠から、1回半錠への減量を提案したいと考えている。プラミペキソール0.1mgの場合、Cmaxは0.2946ngと推定でき、有効血中濃度の範囲内に収まると予測された。月曜日に患者さんのその後の経過を確認、最終的な情報提供書を完成する予定である。

日誌

日誌 07月11日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月11日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	昨日行った薬物動態の計算について、改めて自分で確認を行ったが、計算の意味を理解するまでに時間を要してしまった。頭の中で整理することが難しかった。しかし、時間はかかったものの、大きな達成感を得た。自分の考えを文章にまとめ、相手に伝わるように表現することの難しさを実感した。このような経験を積み重ね、文章力を養っていきたい。
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>>Cmaxに比例関係 etc 一昔前に『薬局では薬物療法は少ないので、病院で学びましょう』とよく耳にしていました。(笑) 薬物療法は半分アイデア勝負だと思います。単純に知っている(知”識”)だけでは知”恵”になるわけではないのかもしれないですね。</p> <p>レベル高めですが、薬学部の特長である科目(今回は薬物動態)をどのように用いるか?常に考えておけると良いと思います。</p> <p>登録者:小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月12日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.5 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月12日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 07月12日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月12日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 07月13日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 07月13日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 07月13日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 07月13日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	